

# JACET-Kansai Newsletter

No. 38 June 8, 2007

支部長: 木村 博是 (近畿大学) (Chapter President: Hiroshi Kimura, Kinki University)  
支部事務局: 〒522-8533 彦根市八坂町 2500 滋賀県立大学 小栗裕子研究室内  
(Chapter Office: Yuko Oguri, The University of Shiga Prefecture, 2500 Hassaka-cho, Hikone-city 522-8533)  
Tel: 0749-28-8252 Fax: 0749-28-8619 E-mail: yoguri@ice.usp.ac.jp URL: <http://www.jacet-kansai.org/>  
郵便振替口座番号(Postal Account): 00940-4-187715 大学英語教育学会関西支部

## 研究会入会の勧め

支部長 木村博是

「教育や研究で問題を抱えたとき、その解決の場をあなたはどこで見つけますか」という問いを寄せられたとき、なんと答えるでしょうか。その解決への指針を示してくれるのが研究会です。関西支部では、常にアクティブな活動ができる環境を提供しています。586名の支部会員の皆さんは、英語教育改善に向けて、活力、熱意、関心をお持ちでしょうから、新しい研究成果を発表できる場になればと思います。

「人のなすことには潮時というものがある。一度その差し潮に乘じさえすれば幸運の渚に達する」(*Julius Caesar*)とシェイクスピアは、潮時を見計らうことの大切さを言っています。何事も潮時というものがあります。潮の動きが満ち潮なら、沖合いに出る時でしょう。潮時を見計らい、時流を見切り時流に乗れば、ことはスムーズに動くものです。現在、10の研究会がありますが、時流の中で消えていった研究会、また時流に合わせて生まれた研究会もあります。今は英語教育変革のときです。会員の力で研究会も時流に合わせて装いを変え、変化していきます。

研究会の歴史を振り返ると、第1期は、学会として日常の研究活動を強化するため、1986年に主として運営委員の有志を中心に13の研究会が生まれました。この研究会の成果は全国大会などで、シンポジウムを組んで発表されました。さらに1990年には研究会を改組し、10の研究会で広く支部会員に対して研究活動への参加を呼びかけ、第2期研究会が発足しました。そして2年を1期として、各研究会の研究成果を公表することを原則としました。この姿勢は現在も受け継がれています。

研究会は支部活動の事実上の大きな推進力です。大学英語教育に関心のある会員の皆様には、この機会にぜひ入会していただき、意義ある研究会にするため積極的に関わっていただ

けることを望んでいます。そして、先生方の教育や研究に関する無限の能力を最大限に開花させていただきたいと思います。

## 支部研究会の紹介

JACET 関西支部では数多くの研究会が活発に活動しています。年度初めにあたり、以下に各研究会とその概要をご紹介します。各研究会では原則として、常時、新入会員の申込みを受け付けておりますので、興味・関心のある研究会がありましたらお気軽に各研究会の担当者までご連絡ください。

### ◆文学教育研究会

代表：松田早恵 (摂南大学)

[sae@ilc.setsunan.ac.jp](mailto:sae@ilc.setsunan.ac.jp)

副代表：玉井史絵 (同志社大学)

[ftamai@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ftamai@mail.doshisha.ac.jp)

### 研究会の概要

当研究会は、英語教育を人間教育の立場から考えるという精神に立ち、英語教育学・英語学に限らず、英米文学専攻の英語教師の視点からも大学英語教育における、効果的な文学教材の使用について研究しています。基本的な活動は、文学作品を使った英語教育の研究報告や実践報告、文学教育、英語教育、リーディングの教授法に関する論文の紹介などです。個人研究に関しては、英語教授法に限らず、純粋な英米文学の研究も含まれます。活動日程は、年5回(4月、6月、10月、12月、2月：原則的に第4土曜日)の例会を同志社大学、今出川校地内で開催しています。

### ◆学習英文法研究会

代表：奥田隆一 (和歌山大学)

[takalokuda@gmail.com](mailto:takalokuda@gmail.com)

副代表：日野上福枝 (関西大学・大学院生)

[fukue85@yahoo.co.jp](mailto:fukue85@yahoo.co.jp)

### 研究会の概要

本研究会では、学習英文法をテーマに、さまざまな分野の方から発表いただくことによって、理論と実践の融合を目指しています。したがって、①

近年の英語学・言語学研究によりどのような知見が得られたか、②それをどのようにして学習英文法に取り入れるか、の2点に大きな関心をもって活動を行っております。

---

#### ◆英語力指標研究会

代表：辻 伸幸（和歌山大学教育学部附属小学校）  
[tsusan3852.jp@yahoo.co.jp](mailto:tsusan3852.jp@yahoo.co.jp)  
副代表： 牧野眞貴（関西国際大学・非常勤）  
[nicole724@hotmail.co.jp](mailto:nicole724@hotmail.co.jp)

#### 研究会の概要

研究の目的は、英語学習の各段階（小学校、中学、高校、大学、大学院、企業）で必要となる英語力とはどのような指標を持って定められるべきか、また英語教員に必要となる英語力と英語指導力とはどのようなものであるべきかについて、多角的に研究調査し、多方面から検討を重ねることです。まだこれからどのような活動が展開されるか未知数ですが、研究課題が多岐にわたるため、学際的に検討が行われることが期待されます。本研究会の研究成果により、日本の英語教育政策に応用させるべき有益なデータを提示できればと願っています。

---

#### ◆ESP 研究会

代表：幸重美津子（京都外国語大学）  
[yuki@balloon.ne.jp](mailto:yuki@balloon.ne.jp)  
副代表：岡本真由美（摂南大学）  
[okageha@iris.eonet.ne.jp](mailto:okageha@iris.eonet.ne.jp)

#### 研究会の概要

さまざまな分野の専門教員との連携を深めることで、各専門分野のニーズ分析、ジャンル分析を行なう。その分析結果をどのように教材作りやカリキュラム作成に生かすかを検討している。どのような専門分野でも ESP を取り入れた授業ができる、専門分野への橋渡しの役割を担える教員を育てていくのが我々の大きな目標である。EGP 教員であっても、また、専門分野が異なる ESP 教員であっても、与えられた専門分野で ESP 授業が行なえる「普遍性をもった ESP 授業計画の体系化」の実現に向けて、常に理論面と実践面の両方から研究を進めている。

---

#### ◆海外の外国語教育研究会

代表：橋内武（桃山学院大学）  
[thashi@andrew.ac.jp](mailto:thashi@andrew.ac.jp)  
副代表：中村秩祥子（龍谷大学非常勤）  
[chisakoiga@yahoo.co.jp](mailto:chisakoiga@yahoo.co.jp)

#### 研究会の概要

テーマ：EU の外国語教育政策—日本の外国語教育の再構築に向けて。これまで主として東アジア諸国や先進諸国の外国語教育政策や実態について調査研究を行い、その成果を『世界の外国語教育政策—日本の外国語教育の再構築に向けて』（東信堂）としてまとめた。2007 年度は、昨年度に引き続き、EU25 カ国の外国語教育の動向と諸課題について明らかにするとともに、我が国の外国語教育の在り方について問い直すことを目標とする。

---

#### ◆教材開発研究会

代表：安田 優（北陸大学）  
[masaruy@hkg.odn.ne.jp](mailto:masaruy@hkg.odn.ne.jp)  
副代表：田村朋子（関西外国語大学非常勤）  
[ttamura@kansai.ac.jp](mailto:ttamura@kansai.ac.jp)

#### 研究会の概要

短大生、大学生を対象とした英語教材の研究・開発を目的としている。

---

#### ◆リスニング研究会

代表：樽井 武（電気通信大学）  
[tarui@bunka.uec.ac.jp](mailto:tarui@bunka.uec.ac.jp)  
副代表：箱崎雄子（追手門学院大学）  
[yuko@sings.jp](mailto:yuko@sings.jp)

#### 研究会の概要

リスニング指導についての研究・調査、それに基づくテキストの作成等。

---

#### ◆リーディング研究会

代表：長谷尚弥（関西学院大学）  
[nhase@ksc.kwansei.ac.jp](mailto:nhase@ksc.kwansei.ac.jp)  
副代表：釣井千恵（桃山学院大学・非常勤）  
[fwnf2096@mb.infoweb.ne.jp](mailto:fwnf2096@mb.infoweb.ne.jp)

#### 研究会の概要

語彙・文法・意味・談話処理などの言語処理のプロセスに着目し、英文読解における EFL 学習者の読解の基礎的研究を深めることを目指しております。近年は、読解と聴解との関わり、ワーキングメモリと読解の関わりなど読解プロセスの詳細を掘り下げることをテーマとした研究も進めております。また、基礎研究に基づき、英語リーディングの指導、語彙指導など授業の実践に関わる問題を様々な視点から議論しております。そのために実証研究・実践研究発表と輪読会の二本立てを原則に毎月1回研究会を開いております。

---

#### ◆ライティング指導研究会

代表：正木美知子（大阪国際大学）  
[masaki@hus.oiu.ac.jp](mailto:masaki@hus.oiu.ac.jp)  
副代表：久留友紀子（愛知医科大学）

## 研究会の概要

本研究会では、大学における英文のライティング指導の在り方と実践的指導法について考える。

### ◆英語教育総合研究会

代表：成田一（大阪大学）

[narita\[AT\]lang.osaka-u.ac.jp](mailto:narita[AT]lang.osaka-u.ac.jp)

副代表：鈴木規巳洋（京都橘大学）

[suzuki-k\[AT\]tachibana-u.ac.jp](mailto:suzuki-k[AT]tachibana-u.ac.jp)

### 研究会の概要

従来の研究会は英語教育の細分化された専門研究に限定される傾向にあるため、英語教育に関わるテーマを、(言語研究全般、心理学、翻訳・通訳論&技術、脳機能イメージングなど) 関連研究領域の研究成果をも踏まえ、総合的かつ学際的に討議しようという研究会です。ほかの研究会の成果も随時ご報告いただくとともに、英語教育プロパー以外の分野の方の参加を得てその知見を結集し、ブレインストーミングすることで、新しい認識と研究さらには英語教育のありかたの社会への提言に繋げて行くことを目指しています。(詳しくは、本研究会のHPの趣意書をご参照してください。)

### 2007年度 関西支部春季大会報告

6月2日(土)、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスにおいて「外国語学習を科学する」を大会テーマとして春季大会が開催され、140名を超える参加がありました。

午前10時から始まった開会式に続いて午前中には2件のワークショップ、昼休みをはさんで午後には3つの実践報告と5つの研究発表が行われました。さらに休憩の後、大会テーマでもある「外国語学習を科学する」というテーマのもとにシンポジウムが開催され、林研究企画委員長司会のもと、4名のパネリストが最新の研究成果を持ち寄り、約80名の聴衆も交えて活発な議論が展開されました。

その後の懇親会にも多くの参加者が集い、楽しく有意義な親睦の時間を過ごすことができました。

会場校を提供していただいた関西学院大学の先生方をはじめ、研究企画委員の先生方、ご苦労様でした。有り難うございました。参加していただいた皆様、有り難うございました。

### 2007年度 関西支部秋季大会

#### ワークショップ・研究発表・実践報告応募要領

2007年度 JACET 関西支部春季大会は、10月13日(土)に滋賀県立大学にて開催されます。ワークショップ・研究発表・実践報告を募集致します。発表をご希望の会員の方は、次の要領で関西支部

事務局までご応募ください。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

1. 発表は英語教育および関連分野に関する未発表のものに限ります。
2. 研究発表・実践報告は、発表が20分、質疑応答が10分、合計30分の形式になります。
3. 応募者は、応募書類(A、Bの2種)を、E-mail添付、または「研究発表申込在中」と朱書きした封筒にて、事務局まで送付してください。応募書類はホームページからダウンロードできます。

#### A) 応募情報

- a) 発表形式：ワークショップ、研究発表、実践報告の別をご記入ください。
- b) 発表題目（日本語と英語）
- c) 発表者情報（共同発表は全員）：氏名（漢字とローマ字）、所属（日本語と英語）、連絡先住所、TEL、FAX、E-mail
- d) 発表に使用する言語
- e) 使用希望機器（無い場合は「なし」と明記）

#### B) 発表要旨（目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献等）

日本語の場合は800字(A4用紙ワープロ打ち)程度、英語の場合は300-400 words (A4用紙ワープロ打ち)、無記名とする。

#### <重要>文字数を厳守して下さい。

4. 締切り：2007年7月20日(金) (必着)
  5. 選考は選考委員会にて行います。
  6. 選考結果は、締切り後1ヶ月程度でE-mailあるいは封書にて通知します。
  7. 送付先：E-mail:事務局小栗  
yoguri@ice.usp.ac.jp  
(郵送) 〒522-8533 彦根市八坂町2500  
滋賀県立大学 小栗裕子研究室内  
大学英語教育学会関西支部事務局
- ※受取り確認を、一両日中にE-mailまたは葉書にてお知らせします。万一、連絡がない場合はご一報ください。
8. その他：ワークショップの詳細については、事務局までお問合せください。

### CALL FOR PAPERS

The 2007 Fall Conference of the JACET Kansai Chapter will be held at The University of Shiga Prefecture on Saturday, October 13. Members of the JACET Kansai Chapter are invited to present proposals for research papers, reports on classroom activities and workshops. Conditions and procedure for proposals are as follows:

- 1) Proposed topics should be relevant to English education and related fields. The proposed material should not have been presented elsewhere.
  - 2) A research paper or a report on classroom activities should consist of a 20-minute presentation and a 10-minute Q & A period. With regard to workshops, please contact the JACET Kansai office for details.
  - 3) The following proposal forms A and B should be prepared on separate sheets and submitted to the JACET Kansai office either by E-mail (attached documents) or by post (with 'proposal form enclosed' indicated on the envelope in red). These forms for proposals are available from the Web site.
- A) Application form:
- a) Type of proposal (research paper, report on classroom activities or workshop); b) Title of proposal; c) Information about applicant: name, affiliation, postal address, phone number, facsimile number, e-mail address; d) Language for presentation (English or Japanese); e) Equipment required. With regard to c), if this is a group proposal, please indicate all members.
- B) Abstract: anonymous; **adhere to 300-400 words.** (Some mention should be made of the purpose of the research; background; methods; conclusion; references.)
- 4) Proposals must arrive at the JACET Kansai office no later than July 20, 2007.
  - 5) Selection of the proposals will be carried out by the Reviewing Committee.
  - 6) Notification of acceptance will be sent from the office within a month after the deadline.
  - 7) Contact address: (E-mail) [yoguri@ice.usp.ac.jp](mailto:yoguri@ice.usp.ac.jp)  
(Postal Address) JACET-Kansai Office: Yuko Oguri, The University of Shiga Prefecture, 2500, Hassaka-cho, Hikone City 〒522-8533
  - 8) Acknowledgment of the receipt of your proposal will be sent by E-mail or post within two days after its receipt. If you do not receive an acknowledgment, please inform the office as soon as possible. E-mail submission of proposals is preferred.

---

### 第1回講演会のお知らせ

関西支部では以下の要領で2007年度第1回講演会を予定しています。ふるってご参加いただきますよう、ご案内いたします。

講師：加賀田 哲也氏 (大阪商業大学)

演題：「小・中連携を視座に入れた英語教育への  
取り組み－寝屋川市の事例をもとに」

日時：2007年7月29日(日) 15:30-17:00

(15:00 受付開始)

場所：高槻市生涯学習センター3階第2会議室

\*詳細については同封の案内をご覧ください。

\*\*\*\*\*

なお、今年度から談話会と講演会が一本化され、今回を含めて計3回の講演会が予定されています。第2回は12月16日、第3回は2008年3月2日の予定です。各講演会の詳細については、決まり次第HPにてお知らせいたします。またニューズレターでもご案内いたします。

---

### 『JACET関西紀要』

今年から『JACET関西紀要』は、毎年刊行になります。つきしては、第10号の投稿を募集いたします。会員の皆様には奮ってご投稿くださるようお願い申し上げます。投稿原稿は、大学における英語教育およびその関連分野の研究に資する内容のものです。投稿期限は2007年11月10日(土)必着です。

---

送付先：〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5

京都府立大学文学部 英語学講座

菅山謙正研究室内

JACET関西支部紀要委員会宛

※お問い合わせは、E-mail: [ken \[AT\] kpu.ac.jp](mailto:ken@kpu.ac.jp)

またはFax: 075-703-5243

なお、『JACET関西紀要』の書式テンプレートは、<http://www.jacet-kansai.org/kiyou.html>をご覧ください。投稿規定については、JACET関西HPをご参照ください。

### 編集後記

関東地方に端を発した麻疹の流行はとうとう関西にまで及ぶことになりました。実は、今回春季大会の会場校となった関西学院大学においても大会当日の6月2日から休校措置がとられ、そんな中での大会開催という異例の事態となりました。それにも関わらず集まっていた多数の参加者の方々に支えられ、大会を成功裏のうちに終えることができました。多くの方々の支えに感謝いたします。

新しい年度が始まるにあたり、5月の連休明けに関西支部幹事が一堂に会し、支部としての仕事の確認とそれぞれの幹事の任務分担が見直されました。その結果、これまで長い間事務局幹事でもある小栗先生が担当されていたこのニューズレターを長谷が担当することとなりました。どうぞ今後ともよろしく願いいたします。(は)